

年 組 名前：

山梨市牧丘地区で、収穫期を2カ月ほど遅らせて希少価値を高めた「こがらしぶどう」の出荷作業が3日、始まった。こがらしぶどうを栽培しているのは、JAフルーツ山梨笛川支所管内で標高600m前後に位置する農家9軒。巨峰とシャインマスカットの2種類があり、雨よけの農業用ハウスで収穫期を遅らせるこ

とで希少価値を高めている。この日は朝から、同市牧丘町倉科の同JA笛川統一共選所に約600kgの巨峰が持ち込まれ、検査員が一箱ずつ中身を確かめていた。京浜市場を中心に取引され、同JAの直売所でも販売する予定。こがらしぶどう部会の菊地典雄副会長(49)は「糖度の高いブドウに仕上がった。み

こがらしぶどう 出荷

山梨・牧丘 遅摘みで希少に



出荷されるこがらしぶどう

山梨市牧丘町倉科



QRコード
から動画を
見られます

んなでおいしく味わってほしい」と話した。JAフルーツ山梨によると、作業は12月上旬ごろまで続き、出荷量は約13トを見込んでいる。

〈山本就己〉

(2025 年 11 月 4 日付 山梨日日新聞 16 面)

【 記事を先生や家族に読んでもらうか、自分で読んだ後に、答えてください 】

問1 「こがらしぶどう」と、本来の「ぶどう」との、違いを答えてください。

.....

問2 「こがらしぶどう」となる、ぶどうの品種を答えてください。

.....

問3 今年の「こがらしぶどう」の出来栄は、どうでしたか。

.....

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します

Copyright © 2025 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.